シルバー 第87号

ところざわ

2004年7月25日

発行　社団法人
所沢市シルバー人材センター
編集　広報部会
〒359-1143
所沢市宮本町１－１－２
電話　０４－２９２８－８６９５
FAX　０４－２９２４－０６３０
ホームページアドレス
http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/

平成16年度定期総会開催！「全議案、可決」

㈳所沢市シルバー人材センターの平成16年度定期総会が5月24日午後1時半からエスポワール「晨麓苑」で開催された。

当日は天候にも恵まれ、多数の来賓者のご臨席を賜り、また会員の出席者も今までになく多く344名にのぼった。

委任状950通と合わせ1294名となり、定足数の過半数を超え盛大な総会となった。

秋山理事長の挨拶・来賓祝辞の後、議長に渡邊光信氏（新所沢東地区）を選出し議事に入った。

第1、第2号議案は平成15年度の事業報告及び収支決算報告と監査報告。第3、第4号議案は平成16年度事業計画と収支予算が審議され、それぞれ原案通り可決された。第5号議案では任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任について上程され、これも原案通り承認された。

また、上田事務局長より当シルバー人材センター「就業の基準に関する要綱制定」についての報告があった。

議事終了後、今回退任された7名の役員に対し感謝状が贈呈され、平成16年度定期総会は無事閉会した。

総会終了後、別室宴会場で懇親会が行われ終始和やかに歓談された。

（詳細は3ページ）

ごあいさつ

理事長　秋山　脩

本日は平成16年度所沢市シルバー人材センター定期総会の開催に当たり、所沢市を始めご来賓の皆様にはご多用の中ご出席賜り誠に有り難うございます。また、ご参集会員の皆様には益々ご健勝にて、センター事業にご尽力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、社会経済状況が大きく変革し企業の生き残り競争が激化するなど、高齢者を取巻く雇用環境は非常に厳しい状況の中、市・関係機関をはじめ発注者の方々のセンターに対するご理解とご協力に心からお礼を申し上げます。本年度は役員の改選期にあたっていますので、役員の選任をお願いする等5項目の議案をご提案申し上げます。一つには、平成15年度の事業報告並びに収支決算ですが、お陰を持ちまして当該年度の受注高は約6億1千7百万円に達し前年度に比較して約9千6百万円の増加額を示しました事はひとえに会員皆様のご努力とご協力の賜であり厚く御礼申し上げます。反面、事故も11件を数え、尚一層の安全面の管理に心せねばならないと、決意を致している所であります。

平成16年度の事業計画・収支予算につきましては「広報ところざわ」の全戸配布業務や公民館の夜間等の管理業務の受注等を含め、目標を契約高6億5千万円、就業率は1％引き上げて78％としました。重ねて皆様方のご協力をお願いいたします。

また、数年先には本格的な高齢者社会の到来を迎え、多くの高齢者が働くことへの強い意欲をもって入会して参ります。これに対し、就業機会の確保・拡大が困難な状況が見込まれますので「就業の基準に関する要綱」を制定して就業の公平化と未就業者の解消に努める事と致します。更に、一人でも多くの会員が就業出来るよう今年も就業機会開拓創出員を配置、積極的な就業開拓の拡大に努めて参ります。

また、本年も国の支援を得て「シニアワークプログラム」事業を昨年に引き続き実施、センター事業の就業機会に結びつき得る技能講習を受けて頂き、就業機会の拡大を図ります。職員の「給料・期末手当」等に付きましては、本年度も前年度に続き、給料改定を実施した市に準じ、約1％の引き下げを行い、職員一丸となり運営努力をして参る所存でございます。以上、事業の概要を申し上げましたが、私共はこのセンターを通じて生き生きと働くことで、自分の健康を保持しながら社会に参加し、福祉の受け手としてではなく担い手として、社会に貢献して参りたいと考えております。幸い、市・関係機関・発注者の深いご理解とご支援を賜ると共に会員並びに役職員皆様のお力添えとご協力のもと、議案書資料にもございますように、事業実績等相応の結果を見る事ができ、何よりと存じております。詳細に付きましては事務局より説明を致させますので、慎重なご審議を賜わり、ご承認頂けますようお願い申し上げます。なお、本定期総会で、長年に亘りセンター発展のため理事・監事・地区委員として、特段のご尽力を頂きました、7名の方々が退任なさいます。退任者に対して、感謝状を贈り感謝の意を表したいと思います。本当に有り難うございました。

最後にご多用のなか、ご臨席賜りましたご来賓の方々のますますのご健勝、今後の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。なお会員皆様の安全な就業、ご健康、ご活躍を重ねてご祈念申し上げ、総会開会に当っての挨拶とさせていただきます。

新役員紹介

役職名	氏名
顧問	斎藤　博
相談役	高野英二
理事長	秋山　脩
副理事長	田中文雄
〃	岸　啓二
専務理事兼事務局長	上田勝紀
理事	島　とみ
〃	山口　博
〃	五社よし子
〃	押切辰弥
〃	九鬼春雄
〃	西方喜一
〃	村上和枝
〃	橋本英世
〃	前田　元
〃	貫井弘久
〃	岩渕淑子
〃	小檜山正幸
〃	冨田　実
監事	佐藤武夫
〃	小林　晟

総会報告

総会は兼松副理事長の開会の言葉に続き、秋山理事長の挨拶（2頁に掲載）で始まりました。

続いて小檜山所沢市保健福祉部長、当麻市議会副議長、西山県議会議員よりそれぞれ祝辞を頂き、来賓列席者紹介、祝電披露の後、休憩を挟み議事に入りました。

なお、斉藤市長は公務のご都合により総会後の懇親会に出席され、ご祝辞を頂戴しました。

議長に渡邊光信氏（新所沢東地区）が選ばれ、議事執行役員の選出については、会場内から「議長一任」の声があり、次の4名を指名し承認を得ました。

議事録署名人＝米村英明氏（新所沢東地区）塩谷巳與治氏（富岡地区）書記＝烏山あい子氏（松井地区）両角博美氏（事務局職員）

議事は事前に配布された議案書に基づき、平成15年度事業報告、収支計算及び財産目録の承認（第1・2号議案）が上程され、上田事務局長より詳細について説明、前年度に比し会員数は219名増、受託契約金額は96百万円（19％）増、また、就業率は79％（目標77％）といずれも順調に推移したとの報告がありました。中でも就業の公平化と未就業者の解消を図るため「就業の基準に関する要綱」を制定したことが注目されます。

議長からの質疑有無の問いかけに「異議なし」の声が多数あり、拍手で一括承認。

次に斉藤武司氏が監事を代表して「業務の執行状況は適正、且つ決算書類は公正妥当である」との監査結果を報告し承認されました。

平成16年度事業計画（案）及び平成16年度収支予算（案）の第3・4号議案も一括上程、山川事務局次長より議案を説明。

16年度事業計画として目標契約高6億5千万円、目標就業率78％のほか普及啓発事業の推進・就業機会の開拓・安全就業対策の推進・福祉家事援助サービス事業の推進など10項目の計画が提案されました。

収支予算案では6億5千1百94万6千円の内訳が説明され、両案とも異議なく承認されました。

第5号議案は上田事務局長より役員（理事・監事）の任期満了に伴う新役員人事の提案があり、承認されました。（別項の新役員参照）

更に当シルバー人材センターの「就業の基準に関する要綱制定」について報告がありました。

全議案が原案通り承認され議長は降壇。新理事長の挨拶、新役員の紹介、退任役員7名に対し感謝状の贈呈、当センター事務局職員2名の永年勤続表彰と続き、田中副理事長の閉会の言葉をもって午後3時27分総会を終了しました。（加藤記）

感謝状の贈呈

長年に亘り、当シルバー人材センターの役員としてご活躍頂きました7名の方々が、任期満了により退任されました。議事終了後、秋山理事長より感謝状が贈呈されました。

なお、任期中に池田年雄様が逝去されました。関係者一同、心から哀悼の意を表します。

○伊藤　政一　様（理事2年、副理事長8年、監事2年）
○兼松きのえ　様（理事2年、副理事長10年）
○澤口　富保　様（理事8年）
○三上　一雄　様（理事5年）
○斉藤　武司　様（監事10年）
○矢沢　芳郎　様（中央地区委員7年）
○故池田年雄　様（地区委員10年）

新三役に聞きました

お聞きした項目
①最近感動したこと
②役員としての抱負

☆秋山脩理事長（新所沢東地区）
①6月1日から始まった「広報ところざわ」の配布。5月末、現場を回り、暑いさなかに一生懸命配っている会員の姿を目のあたりにして、感動した。
②全体的な抱負は総会の挨拶（2ページ参照）の通りですが、目下は配布の仕事を成功させたいと努力している。シルバーの組織力と会員の実力を問われる大仕事なので、是非皆様の協力を仰ぎたい。

☆田中文雄副理事長（松井地区）
①最近では拉致被害者の家族帰国にあたっての曽我ひとみさんの言動に打たれた。自分の家族だけ帰国が遅れたのに「これからできるだけのことはやっていこう」と涙かくしての気丈なコメント。そして深い家族愛。「人情、紙の如き」現代なので、よけい感動した。
②本年10月施行される「就業の基準に関する要綱」を軌道にのせ、就業の公平化と透明性を確保していきたい。

☆岸啓二副理事長（山口地区）
①少々のことには感動しないタチです。でも、今回、北朝鮮に残された5人の子供が帰されたことは本当によかったと思う。
②山口地区内の「ふれあいの会」で、現在、ボランティアとして活動している。これからはシルバーの副理事長として、さらに、広い観点から高齢者の生き甲斐を目指して微力を尽くすつもり。

安全就業優良シルバーとして表彰される

全国シルバー人材センター事業協会「安全就業優良シルバー人材センター選定委員会」において、埼玉県内で所沢市・白岡町両シルバー人材センターが選ばれ、去る全国シルバー人材センター事業協会平成16年度総会で表彰を受けました。（全国で23団体受賞）

会員安全就業推進委員会では、今後も皆さんのご協力により安全就業に心掛けて参ります。

退任挨拶

前副理事長　**兼松きのえ**

いよいよ夏の訪れ、皆様方にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

さて私こと去る5月の総会をもって副理事長を退任しました。平成4年から12年間、故高橋、高野、秋山理事長をはじめ千5百人の会員皆様のご指導やご厚情のおかげをもちまして浅学非才の身で今日までこられましたこと、大変嬉しくありがたく感謝いたします。

末筆となりましたが皆様方のますますのご活躍とご健康をお祈りし、退任のあいさつといたします。

親睦会総会報告
「親睦会六年目にあたって」

吾妻地区　**佐々木理一**

平成11年に発足した親睦会、200名足らずのスタートでしたが6年目を迎える現在では300名を超す会員のご参加を頂き、16年度の総会も5月24日無事終了しました。会員は種々のサークル活動を通じて親睦の絆を深めており、活動の範囲もスポーツからパソコン・民謡・カラオケ等々多岐に亘ります。この間の出来事と言えば、翌12年の正月から「親睦会だより」の発行を開始したことでしょう。春夏秋冬の季刊として全会員にお読み頂いております。またパソコンサークルでは昨年からホームページを開設し、人材センターのホームページとリンクさせ、どちらのホームページからも相互に閲覧出来るようになっています。

今後、親睦会では各サークルのリーダー共々積極的に交流の環を拡げるよう努力していくつもりですので、よろしくご協力をお願い致します。

おじゃましまーす

職場訪問記（28）

「広報ところざわ」市内の全戸配布開始、会員奮闘する！

これまで月2回発行されていた「広報ところざわ」が6月から毎月1回（1日）発行に変わり全世帯に戸別配布する事になった。

市内約14万4千の全世帯（事業所1万含む）の配布作業を所沢市シルバー人材センターが受託することになり、センターでは配布作業の就業者を募り、250人余りの希望者での共同作業が始まった。

このような同一職種で大勢の会員が就業するのは初めての試み。就業会員への説明会は5月14日に11地区を3回に分けて行われた。

事前に地区ごとに地区委員と配布作業をする会員で地域の区割りと担当を相談して、説明会に出席したこともあり、会はスムーズに終わることができた。（地区及び担当人員は別表の通り）

初めての戸別配布となる6月1日発行の「広報ところざわ」は、5月26日各担当者宅へ「赤帽便」で必要部数が配達され、発行日前日の5月31日までに配布。また、次号からも同様に毎月末までに配布を終わらせる事となった。

……＊……＊……＊……＊……

届いた「広報ところざわ」は、早速各担当者によって配布が開始された。

会員の吉松直子・斉藤光義両氏にお願いして今回の配布作業に同行取材させてもらうことになった。

当日はジワッーと汗ばむ程の暑さの中を一軒一軒ポストを見つけ投函、住宅の路地を入ったり出たりとジグザグ歩行の繰返し。

吉松さんは「初回なので、配布漏れがないようにと結構神経を使いますね。回を重ねていくと慣れてくるでしょうけどね」担当区域の約千部を3日間かけて配布終了させたそうだ。また「特に、気付いたのは早朝（6時頃）は飼い犬が吠えて、睡眠の妨げになると思われるので、時間をチョットずらす事で迷惑にならないのではないかと感じました」との由。一方、斉藤さんは配布が終わって「普段歩くことが少ないので、適度の運動になって丁度いい」と話された。

就業された皆様は、各担当区域の立地条件などでいろいろとご苦労もあった事とお察しします。これからも配布当日の天候次第で作業能率が異なってくるので各自の工夫が必要かと思われます。

今回は初めての配布作業という事もあり、終了した時点で配布漏れが見つかり、対応処理を余儀無くされました。

「広報ところざわ」は市民への大切な情報源なので、配布にあたっては重要な仕事だという事を認識して就業してほしいと感じました。

これから7・8月夏の暑い時期になりますが、配布作業に無理のないよう配慮して頂き、健康に十分気をつけて頑張ってください。

また、今回の取材にご協力頂いた吉松直子・斉藤光義両氏には厚く御礼申し上げます。（岩崎記）

広報誌配付人数

地区名	担当者数
中央	23名
松井	25名
富岡	17名
小手指	28名
山口	19名
吾妻	17名
柳瀬	12名
三ケ島	39名
新所沢	27名
新所沢東	15名
所沢	21名
計	243名

平成16年度事業計画

事業部会　部会長　田中文雄

景気回復がしたと云われていますが、高齢者の雇用環境は依然として厳しい状況にあります。そのような背景の中にあって、昨年度は財政基盤の強化のため、事務費の改定を含め、自主努力に積極的に取り組んだ結果、事業実績は上向きに推移して参りました。今後、就業機会拡大については福祉・家事援助サービス事業のように、地域社会で益々需要の増大が見込まれる分野に積極的に対応して参ります。

また、急速な会員増に伴う未就業者の解消は喫緊の課題であることから「就業の基準に関する要綱」を推進しローテーション、ワークシェアリングの定着と公平な就業機会の確保に努める所存です。事業部会は次の事業を推進して参ります。

重点推進事項

(1)センター運営推進
・家事援助事業の状況調査推進
・事業の拡大及び受注状況調査推進
(2)職群班の設置推進
・職群班のフォロー
(3)就業意欲の向上
・技能等研修
・未就業会員の減少と高就業率の確保
(4)就業の基準に関する要綱実施に伴う準備と推進
・要綱の定着

部会員　田中文雄(部会長)、西方喜一、橋本英世、前田　元、陸浦孝之、柴田昌子

フリースペース

研修の途中「姉妹都市ディケーター」に立ち寄る

所沢地区　**小山　茂**

会員安全就業推進委員会

委員の改選で新委員も加わり総勢6名新たな気持ちで「就業途上及び就業中の事故を撲滅すべく」平成16年度の活動を6月22日(第一回会議)を皮切りにスタートしました。年間の主な活動は、就業現場訪問、事故現場検証、安全研修会、会議等開催、他市訪問などです。何より大切なことは「会員一人一人の安全就業へ確固たる意識」である事はいうまでもありません。自信は大事ですが、過信せず加齢による体力の低下を見極めて行動しましょう。特に自動車・自転車の運転は、天候等による状況の変化に気を付けましょう。まずお互いに声を掛け安全就業への意識付けを心掛けましょう。今後就業現場訪問、安全研修会等でお声掛けさせて頂き、共に考え取り組んでいきたいと考えています。

委員　岸啓二(委員長)、山口博、押切辰弥、村上和枝、大坂秀吉、米村英明

約30年前のことですが「日米協会」主催の「米国に於ける語学研修会」(2カ月間)に参加しました。最初、ワシントン、ニューヨークを泊まり次いでそれぞれ名所巡りをしました。その後研修会場であるニュージャージー州立大学の寮に落ち着き、4週間、毎日6時間、学習に取り組みました。

研修の後「グレイハウンド」バスでアメリカ大陸横断の旅に出発。途中、シカゴで文通友達のラブレスさんから所沢市姉妹都市ディケーターへ招待の電話連絡を受けました。翌日、私一人でシカゴ空港からディケーター空港に出向きました。空港でラブレスさんの出迎えを受け、市役所に向かいました。市役所では助

薄学駄話（はくがくだわー）

「川の日」

7月7日は「川の日」です。また七夕の日でもあります。CMで「○○の日」が流行っていますが、国土交通省が平成8年度からこの日を「川の日」と決めました。水に親しみ易い時期に七夕の「天の川」のイメージと重ね、河川愛護月間が7月のためと言われています。

河川を管理するには、行政区分を越え、水系を一貫して治水・利水を取り仕切る必要があり、市内を流れる柳瀬川や東川は、荒川水系に含まれる一級河川に区分されているので「国交省」の管理下にあります。

柳瀬川は上流に比べ、下流がきれいになったと言われていますが、気になるのは、その汚れ具合です。

平成14年度の下流の調査地点（栄橋）ではBOD 1.3mg/ℓを記録し目標水質をクリアーしています。鯉や鮒が棲める程度の水質は、おおよそBOD 5mg/ℓ以下といわれています。然し、上流域にその姿は見かけられません。

少年時代、柳瀬川に遊んだミヤコタナゴはいま、北野にある文化財保護課の施設と市内の小学校で飼育されている……。

（粕谷記）

※BODとは生物化学的酸素要求量のことです。

役が市の概況を説明して下さいました。（写真は新聞記事）その後、車で市内巡りをし、名所を案内して頂きました。市内巡りを終え、暫くレストランでくつろいだ後、ディケーター空港に向かいました。予定より少し遅れて飛行機は離陸しましたが、無事、シカゴ空港に到着し、姉妹都市への訪問が終了しました。翌朝、シカゴを去り、アイオア州のスー市に着きました。スー市は宗教地帯の閑静な都市。ここの教員の家で、2週間のホームステイをしました。その後、バスはロッキー山脈を越え、終着地（サンフランシスコ）に到着。2カ月の研修を終了しました。

武蔵野散歩

史書によると、武蔵野の地名は『武蔵国に広がる平野』という意味から、古来、関東平野の西部は「武蔵野」と呼ばれ、現在は北の入間川、北東の荒川、南の多摩川で画された武蔵野台地一帯に広がる平野部を指し、東西約50kmに及ぶ。その昔、表土の下は厚い砂礫層で、保水性がないため台地一帯は原野だったが、江戸時代に入り新田開発が進み、良質な薪炭を得るために平地林が育成された。現在、武蔵野に点在する雑木林はその一部だそうだ。

先日、都内に残る唯一の本陣が武蔵野の一角にあると聞き、新選組ゆかりの地－日野市に出かけてみた。JR日野駅で降り、先ず新選組六番隊組長・井上源三郎の墓がある宝泉寺を訪ねた。NHKの大河ドラマの影響か若い女性やシルバー年代の姿が目立つ。この寺から徒歩で10分程行くと井上源三郎の生家がある。近年まで350年の星霜を重ねた藁葺きの母屋があったそうだが、現在は蔵造り風の資料館になっている。ここから程近い所に目指す「日野宿本陣」があった。この本陣は文久3年（1863年）に建造されたもので、併設されていた道場では近藤勇や土方歳三、沖田総司らが実戦的剣法「天然理心流」を習得するため日夜激しい稽古に励んでいたとの由。

甲州街道に現存する本陣建物は、他に小原宿本陣（相模湖町）と下花咲宿本陣（大月市）のみで、日野宿は設置されてから今年で400年の節目に当たるそうだ。

この後、天然理心流の剣士達が剣術の上達を祈願した八坂神社、ふるさと博物館を経て、土方歳三資料館、歳三の墓がある「石田寺」迄かなりの距離を歩いた。

「誠」の旗の下、勤皇・佐幕・攘夷に命を賭けた知勇兼備の若者達の生きざまを多少知ることが出来た1日だった。（加藤記）

健康一口メモ

保健師　和田喜美子

「食中毒に御用心」

高温多湿の夏場には食中毒を起こす細菌が活発に繁殖します。「食中毒」は細菌やウイルス、毒物などの混じった食品を食べる事によって起る健康障害の事で、症状は「下痢」「嘔吐」等消化器が中心ですが菌種によっては発熱、意識障害等が起る事もあります。食中毒は集団発生する事が多いですが20％は家庭でも起きると言われています。細菌等が高温多湿を好む一方、人は抵抗力が低下し、細菌に感染し易い事もあって暑いこの時期に多くなります。

気をつけたい食品は卵、肉類、魚介類等生鮮食材や家庭で作るおにぎり、弁当類です。

卵＝サルモネラ菌がつき易い。この食中毒の場合は悪心、嘔吐、腹痛、下痢、発熱があり、子供や年寄りでは血便や脱水症状を伴う事もあります。冷蔵庫で保存し賞味期限内に食べ切る様にし、ひびが入っている場合処分した方が安全です。

肉類＝「カンピロバクター」と言う細菌で症状は嘔吐、腹痛、下痢、発熱等です。特に鶏肉には注意し中までしっかり火を通し調理器具もよく洗い熱湯消毒する事が大切です。

魚介類＝夏の魚介類は「腸炎ビブリオ」に汚染されている事がありますがこの菌は真水には弱いのでよく水洗いし火を通せば殺菌出来ます。夏の生魚は避け加熱したものを食べる様にした方が良いでしょう。

又おにぎりやお弁当の食中毒を防ぐにはよく手を洗い、手に傷がある場合は調理用手袋を使うようにします。おにぎりはラップを使って包むように握るのも良いでしょう。

又調理用具にも細心の注意が必要です。まな板や包丁、ふきんなどは熱湯をかけたり乾燥させて殺菌します。冷蔵庫は詰めすぎない事、素早い開閉で温度の上昇を防ぐ等注意しましょう。

≪シルバー豆宣伝≫

センター運営の各種教室をご存知ですか

センターでは小学生・中学生の基礎学力向上をサポートする学習教室と一般の方を対象に教養向上を目的に各種教室を開講しています。

いずれも安心してご利用いただける料金設定となっています。講師陣は経験豊かな SC 会員が担当し親切と情熱を注いだ指導となっています。学習教室では生徒さんの個性もみながら、小学生は国語と算数を中学生は数学と英語（三年生は国語を加え）を学んでいます。

英会話教室風景

各種教室は小学生向けの書道教室と一般の方を対象とした書道（実務・芸術）教室・英会話教室・茶道教室・編物教室の各教室があります。特に毎週火曜日と水曜日の英会話教室は見学随時受付で自分のレベルを考慮したクラス選択が出来るため大変好評をいただいています。是非、ご友人お誘い合わせ、ご参加をお待ちしております。

平成16年度会員親睦旅行のご案内

今年の親睦旅行は、日本初公開のビックリ植物や希少種など世界中から6千品種、5百万株を集めた「浜名湖花博」を見物に出かけます。ホテルは、会場から一番近い温泉地の舘山寺温泉です。

現在、募集中！

配布済み申込書にて、センター事務局までお申し込み下さい。

定員になり次第締め切ります。

○日時　平成16年9月13日(月)～14日(火)
○集合　旧庁舎前・午前7時15分
○宿泊　舘山寺温泉
「舘山寺ビューホテル開華亭」
○会費　2万円
（7・8月に1万円の分割可）
○募集人員　120名

婦人部のつどい

女性会員が年に1度、一堂に会して交流を深める「婦人部のつどい」が6月18日旧庁舎4階で開催された。57名の参加を得て、新役員の紹介、青柳肇氏（早稲田大教授）の講話拝聴、16年度活動計画の報告など盛り沢山の日程をこなした。

講話は「高齢者のうつ」がテーマ。

遺伝子が関わる病気は別だが、環境によって生じる鬱状態は不慮のことが起こっても①自分が悪いと思い過ぎない②これは一時的なことと③特別な場面なのだと楽観的に対処することでかなり防げると話された。ユーモアを交えた講話に参加者は時々笑い声を上げながら、深く頷いていた。

活動計画としては例年通り秋の市民フェスティバルに参加すること、その為の小物づくりの講習会を持つこと等が確認された。事務局の両角主事からは手回しよく、作品提出要領の説明があった。会の最後に行われた自由懇談会は茶菓を囲んで、仕事の悩みやフェスティバルの参加作品の相談など話は尽きなかった。

16年度役員は次の通り（敬称略）

部　長　五社よし子
副部長　吉松直子　山内康子
地区リーダー
中　央：宇野　良江
松　井：塩田富美江
富　岡：高橋富美子
小手指：清水　安子
山　口：風巻　道子
吾　妻：永井　正子
柳　瀬：今井千代美
三ヶ島：藤本　春江
新所沢：柏木美津子
新所沢東：木村　里子
所　沢：西村　幸枝

☆お知らせ☆

●**健康相談日（各日とも午後）**
8月2日(月)・9月1日(水)
10月1日(金)

●先日の定期総会でご報告しましたように「就業の基準に関する要綱」が10月1日から施行されます。今年度の各地区懇談会にて就業に関する説明を致しますので是非多数の方の参加をお願いします。

●恒例の市民フェスティバルに今年度も当センターは参加致します。是非皆様のご協力をお願いします。

あとがき

▼5月24日の総会を終え、新しい体制が動き出しました。広報部ではベテランの加藤氏が退かれ、新年度は粕谷・岩崎・島が担当することになりました。引続きご鞭撻の程を。フリースペースへのご寄稿も歓迎です。

▼所沢市から「広報ところざわ」の全戸配布という仕事を頂き、大勢の方が健闘中です。街で仕事中の仲間を見かけたら、是非、力強い声援を送って下さい。

※広報部会員として約4年間貢献された加藤泰司氏に御礼申し上げます。

（島記）